

課題タイトル案	市民が「科学技術」の恩恵を感じられる社会実装トライアルを募集します！
解決したい課題・ 実現したい未来	<ul style="list-style-type: none">● <u>解決したい課題</u> 障害者・障害児の潜在能力発揮、など● <u>実現したい未来</u> 障害の有無にかかわらず、誰もが協働できる未来 となりにロボットがいる未来
想定する実証実験内容・ 実施予定の事業内容	①実証実験から導入まで一貫サポート 1年目『つくばSociety5.0』→2年目以降『未来共創プロジェクト』→『市場・市民ニーズ調査』→公共調達 今年度テーマ「障害をサポートする機器や機会の提供」 ②ロボットの公道での自律走行実験『つくばチャレンジ』 ③障害者支援ロボットコンテスト『Global Innovation Challenge』（最高賞金100万ドル）
想定する解決策	IoT技術、ビッグデータ解析、人工知能、ロボティクス、センシング、メタバース、XR
応募企業のイメージ・ 提案企業に求める専門性	教育機関（中学校～）、企業（個人事業主含む）、研究機関
その他	既存技術の行政への事業提案⇒つくばイノベーションスイッチ（情報政策課） 規制・制度改革を伴う事業提案は、今回募集していません。

<p>課題タイトル案</p>	<p>1) 神戸市の都市計画などにおけるユースケース開発 デジタルツインの構築によるまちづくりのマネジメントへの活用</p>
<p>解決したい課題・実現したい未来</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3D都市モデルProject PLATEAUの整備、活用、オープンデータ化が進む中、神戸市のインフラ分野ではニーズ・シーズの調査が十分でなく、ユースケース開発に着手できていない。 ドローンやレーザー測量等による公共施設の3Dデータ取得が不足している。3Dデータを維持管理に活用する共通のプラットフォームがない。 都心、三宮再整備や駅前リノベーション事業による大規模公園や駅前広場の再整備が進捗し、多様な主体によるエリアマネジメントの導入が進んでいる。 多くの人が集う大規模公園や駅前広場などの3次元データを取得し、維持管理の効率化・高度化に取組みたい。
<p>想定する実証実験内容・実施予定の事業内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> サイバー空間上でワークショップなどを開催することで、市民や企業など多様な利用者の協働と参画を促したい。 サイバー空間上で実験的なイベントを開催し、リアル空間と連動した魅力的で持続可能なエリアマネジメントを行いたい。
<p>想定する解決策</p>	<p>神戸市に関係のある土地や施設、もしくは神戸市の保有するデータを活用し、そのデジタルツインを活用して都市設計時や植栽に関するモデルを市民の方にAR（現地）VR（遠隔地）で見えていただき、意見をもらいながら合意形成の方法ユースケース開発をする。</p> <p>例）三宮えきまち空間やLivingNatureKOBÉ（植栽）整備前後の可視化。サイバー空間でのワークショップの開催 例）ルミナリエなど集客イベントでの人流データを用いた警備計画の立案活用 例）ゲームエンジン等と連携し、VR/ARライブやイベントの企画開催</p>
<p>応募企業のイメージ・提案企業に求める専門性</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行政が活用できるデジタルツイン技術の企業様。 またそれらの技術を用いて、市民参画のイベントなどで実証を共に行ってくださる企業様。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> 6月～7月にかけてUrbanInnovationKobeにて本課題の詳細を記載します。また、そのほかの課題についても同時期にUrbanInnovationKobeサイトに掲載します。

2) その他、6月以降にサイト掲載予定の課題について

課題タイトル案

解決したい課題・
実現したい未来

- 令和元年度より東京事務所に都市プロモーション担当ラインを新設。新産業課の民間人材エバンジェリストと連携しながら東京圏から神戸へのヒト・モノ・カネ・情報を呼び込むため都市プロモーションを展開。
- 東京圏から地方移住の動きが出てきていることから、これまで特に神戸にヒトの流れを創出する取組みに注力。
- 情報発信により「神戸市との接点を増やし」、「知って興味を持っていただき」、段階的に神戸との関係性を深化させていくことが重要であり、SNS等を活用した情報発信に努めリーチ数は獲得しているものの、東京圏において神戸に対する親近感を醸成し、神戸を応援するファンの創出するところまではいたっていない。
- 令和4年3月末でふるさと回帰支援センターの神戸移住相談ブースが廃止、兵庫県のアンテナショップ「兵庫わくわく館」が閉店するなど、リアルな場として神戸の魅力伝える場所がなくなる。
- 神戸の魅力を効果的に発信し、神戸のファンを増やし東京圏でのプレゼンス向上を図るため、最先端のデジタル技術等も活用した情報発信の検討が喫緊の課題。

想定する実証実験内容・
実施予定の事業内容

- 神戸市の東京事務所とともに神戸市のプロモーションの仕掛け（VR・ARやそれ以外のデジタル技術での神戸市プロモーション）施策をご提案いただき、そのデジタル技術を使うイベントや機械を実施。
例）神戸の特産品などをメタバース上で購入する簡易ゲームや、遠隔観光など

想定する解決策

- デジタル技術を駆使したこれまでにないアンテナショップの提案を期待
例えば、デジタルで神戸を体験・体感できる機能やメタバースを活用し東京圏及び神戸の企業や人が気軽に集え交流できる場を設けるなど、東京圏にいながらデジタル技術によって実体験として神戸を感じ親近感を醸成するとともに、交流によるネットワーク構築、ビジネスチャンスにもつながるような神戸との結節点、交流拠点とできるオンライン上のデジタルアンテナショップが望ましい。
（一定期間試験的に訪れてもらうリアルな場としても設置を想定）
- その他デジタル技術を活用した神戸のプレゼンス向上、新たなファンの獲得に資する情報発信手法の提案を期待

応募企業のイメージ・
提案企業に求める専門性

- デジタル技術を活用した話題性のある提案をいただける企業様
- VR・AR・そのほかデジタル上でのプロモーションにたけている企業様

その他

- 6月～7月にかけてUrbanInnovationKobelにて本課題の詳細を記載します。また、そのほかの課題についても同時期に[UrbanInnovationKobeサイト](#)に掲載します。

課題タイトル案	豊中版ACP普及啓発ツールを市民とともに開発したい！ ～『もしも』のために考えてほしい医療やケアのこと～
解決したい課題・ 実現したい未来	<ul style="list-style-type: none">● ACPに関する認知度が低い。● 若い世代（40～60歳代）のターゲット層に効果的な啓発ができていない。● 誰もが住み慣れた自宅や地域で自分らしく暮らせるまち豊中をめざす。● 受たい医療・ケアを考え・話し合い・伝えて、自分らしい人生を最期まで生き抜くことができる。● 自分の人生設計に基づいて、最適な健康対策をはじめライフプランを誰でも簡単に考えられる環境。
想定する実証実験内容・ 実施予定の事業内容	<ul style="list-style-type: none">● 市民へのインタビューを通じて、ACPをしたいと思う理由や逆に阻害要因を分析、特定する。● 看取りなどを経験した方を集め、話し合いの中からツール開発に必要なキーワードを掘り起こす。● 本実証を行う上で必要なツールの形態（WEB/ネイティブアプリ、カードゲーム、ACPマニュアル本など）を特定する。● 上記で収集したキーワードをもとにツールを開発する。
想定する解決策	人生最終段階における受たい医療やケア、あるいは受けたくない医療やケアを家族や親しい人と話し合うためのツールを開発する。 （例えば、カードゲームやボードゲーム、アプリ、テレビゲームなど、家族や身近な人たちとが楽しみながら人生最終段階の医療やケアを話し合えるツール）
応募企業のイメージ・ 提案企業に求める専門性	<ul style="list-style-type: none">● ツールを開発するノウハウ● ツールを作成するための場づくり
その他	UrbanInnovation TOYONAKAにて本課題の詳細を記載します。また、そのほかの課題についても同時期に UrbanInnovation TOYONAKA サイトに掲載します。

課題タイトル案	行政情報をわかりやすくビジュアル化したい！ ～地域産業の将来像を「カタチ」にするデータの「チカラ」～
解決したい課題・ 実現したい未来	産業振興の施策について、エビデンスに基づく効果検証や支援制度の拡充を実施したいが、市が保有する様々な情報やデータを利活用しきれていない。 市の様々な情報やデータをひと目見て活用できる仕組みを構築し、以下に繋げたい。 <ul style="list-style-type: none">● 産業の発展● 行政サービスの向上● 市民が市政に興味を持つきっかけ
想定する実証実験内容・ 実施予定の事業内容	当市が保有する平成20年以降の市政データの推移をビジュアル化し、具体例として現在展開している企業立地施策の効果検証に有効な切り口の仮説を立て分析を進め、支援制度の拡充や新規施策の企画立案の検討材料としたい。
想定する解決策	本市が持つ情報やデータと民間事業者が持つデータ分析力やビジュアル化のツールや技術をマッチングさせ、施策にうまく利活用することで市内産業の活性化につなげたい。 その過程で、官民データ活用に精通する民間事業者と共に市役所内のデータのオープン化とビジュアル化を進めたい。
応募企業のイメージ・ 提案企業に求める専門性	<ul style="list-style-type: none">● データ分析やシステム構築の能力、デザイン性に長けている。● 官民データ活用に精通しており、またその実績もある。
その他	UrbanInnovation TOYONAKAにて本課題の詳細を記載します。また、そのほかの課題についても同時期に UrbanInnovation TOYONAKA サイトに掲載します。

課題タイトル案	デジタルツールで支援の現場を繋ぎ、切れ目なく子どもの発達をサポートしたい！
解決したい課題・実現したい未来	<ul style="list-style-type: none">● 発達障害など障害のある子どもを取り巻く多様な主体（保護者、学校やこども園・保育園（所）等、通所支援事業所など）が必要な支援情報を現場で共有できていない。● それぞれの生活の場における支援者が、必要な情報をリアルタイムで共有し、子どもに適切な支援ができる一助となるよう、紙の支援手帳に代わる支援ツールを開発したい。
想定する実証実験内容・実施予定の事業内容	<p>本市で配布する紙の支援手帳をベースに、それぞれの支援現場で本当に役立つ（書き込みやすく、要点が分かりやすい）よう再構成したツールをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none">● 現在の支援手帳をもとに、項目をブラッシュアップ（一部でも可）● テストサイト（紙上でも可）を用い、豊中市立児童発達支援センターや豊中市内通所支援事業所などにおいて関係者ヒアリング● 権限の付与等について、情報セキュリティの要件整理
想定する解決策	子どもの発達支援の現場で、子どもの育ちや発達状況をデジタルで情報共有できること。
応募企業のイメージ・提案企業に求める専門性	<ul style="list-style-type: none">● 子育てをする保護者や、所属機関（こども園・保育園（所）等・学校など）の職員、通所支援事業所の職員など、それぞれの支援者の視点にたちながら、UI/UXデザインを共に検討してくださる事業者● 情報セキュリティの専門知識
その他	UrbanInnovation TOYONAKAにて本課題の詳細を記載します。また、そのほかの課題についても同時期に UrbanInnovation TOYONAKA サイトに掲載します。

課題タイトル案	NFTアート！？地域のクリエイターを後押しする仕掛けを作りたい！
解決したい課題・ 実現したい未来	<p>豊中で活動する新進気鋭のクリエイターと市役所とのつながりがなく、市の魅力発信や文化振興にクリエイターの力を十分に活かすことができていない。</p> <p>実現したい未来</p> <ul style="list-style-type: none">● NFTアートを通じてクリエイターの活動の場を広げ、支援者と繋がり活動資金の獲得が出来る。● クリエイター同士や地域の事業者などが繋がり、情報交換を行ったり地域の活性化に繋がる新しい活動が始まる。● 市民が気軽に文化芸術に触れることが出来る。
想定する実証実験内容・ 実施予定の事業内容	<p>クリエイター同士や支援者が、作品作りなどを通してつながり、実証後も自分たちでNFTを活用した取組みを継続できるようにする。そのきっかけとして、以下のような事業を組み合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none">● クリエイター等への支援策や地域還元策の検討。● クリエイター等によるデジタル作品の制作・販売・活用。● 豊中市で活動するクリエイター等を対象に、NFTアートへの関心を高めるセミナー、ワークショップ、アイデアソンなどの実施。 <p>また、クリエイターと市役所がつながる仕掛けとして、ふるさと納税の返礼品などへの活用を検討する。</p>
想定する解決策	<ul style="list-style-type: none">● 市内クリエイターがNFTの仕組みや関連ビジネスの現状を学び、そのメリット・デメリット等を理解する機会・場を提供し、参加者一人ひとりが今後の活用の可能性を自身で考えてもらうきっかけづくり。● NFT市場をめざす新たなクリエイターたちが生まれる素地をつくる。
応募企業のイメージ・ 提案企業に求める専門性	<ul style="list-style-type: none">● クリエイターの目線から、NFTの仕組みの詳細や出品・取引の実情、出品までのハードルやリスク、それぞれの取組みに適したプラットフォームなどに関する豊富な知識・経験。● 上記の豊富な知識・経験を踏まえた、クリエイターのニーズへの対応力や地域に還元するための活用方法の提案力。
その他	<p>UrbanInnovation TOYONAKAにて本課題の詳細を記載します。また、そのほかの課題についても同時期にUrbanInnovation TOYONAKAサイトに掲載します。</p>

課題タイトル案	<p>脱・いつも混んでる窓口！建築の幅広い相談事を『事前の整理』でスムーズに</p>
解決したい課題・実現したい未来	<ul style="list-style-type: none"> ● 窓口で受付をしている相談内容や手続きの種類が非常に多く、事前に内容がわからないため窓口が混みあうことが多い。 ● 専門知識が必要な相談内容の際には、それに詳しい担当職員へ取り次ぐための時間がさらにかかってしまう。 ● 来庁者、市職員がお互いに非効率な現状を解消し、利便性の高い窓口をつくりたい。
想定する実証実験内容・実施予定の事業内容	<p>建築審査課に寄せられる相談や問合せの現状を利用者の視点から分析。そのうえで、効果的な情報提供のあり方や相談内容を「事前整理」するシステムやサービスの仕組みについてご提案いただき、サービス向上や業務効率化につながるかどうか実証実験により検証を行う。</p>
想定する解決策	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報提供・発信の方法を見直し、市民・業者がなるべく電話をかけたり来庁しなくても、知りたいことや必要な情報が得られるようにする。 ● 来庁を必要とする方には相談の内容を整理して、それに応じた市職員につなげ、また、来庁時に必要な資料等のお知らせを行うためのシステムをつくる。 ー複雑で込み入った内容、定型的内容、簡易な内容などを一様に窓口対応していることを解消したい。 ー窓口対応が必要となる内容は、あらかじめ相談内容の把握や来庁時に必要な資料等のお知らせを行うことなど事前に相談者と調整を行いたい。 ● そのほか、建築関係の申請を行う申請者の利便性を向上させる仕組み。
応募企業のイメージ・提案企業に求める専門性	<ul style="list-style-type: none"> ● 多種多様な内容の窓口業務を『事前の整理』により効率化を目指すので、来庁者目線をくみ取り、寄り添う姿勢。
その他	<p>UrbanInnovation TOYONAKAにて本課題の詳細を記載します。また、そのほかの課題についても同時期にUrbanInnovation TOYONAKAサイトに掲載します。</p>

課題タイトル案	未来の農をつくる ～豊橋市をフィールドとしたアグリテックの開発・実装について～
解決したい課題・ 実現したい未来	<ul style="list-style-type: none">● 長期的視点：地球規模での食に係る課題の解決及び持続可能な未来の農の実現に資するプロダクトの実装● 短期的視点：豊橋市の農業者・農業関係企業の課題解決に資するプロダクトの実装 豊橋市の農業者等の課題
想定する実証実験内容・ 実施予定の事業内容	R4年度は、以下の1と2を並行して実施し、本市における実証開発プロジェクトを組成（次年度以降、地域を挙げて実証開発プロジェクトを支援） <ol style="list-style-type: none">1. <u>アグリテックコンテスト（R4夏以降募集開始）</u><ol style="list-style-type: none">（1）農業者が抱える課題の解決策を全国から募集（2）本市における実証開発の展開が可能かつ数年以内に実装可能なアイデア提案者を表彰（3）賞金総額1,000万円2. <u>マッチングプログラム</u><ol style="list-style-type: none">（1）農業者が抱える本質的な課題の明確化（2）応募スタートアップと農家・企業とのマッチング
応募企業のイメージ・ 提案企業に求める専門性	<ul style="list-style-type: none">● 農業分野でのスタートアップ起業を目指している方● 農業者との共創型のプロダクト開発に関心のある方● 農業分野での実証実験フィールドを探している方、その他どなたでも
その他	<ul style="list-style-type: none">● 事業詳細URL：https://www.city.toyohashi.lg.jp/50253.htm● 本市の事業に興味をお持ちの方向けのアンケート：https://forms.gle/pAaKDp5qmRdiivrKA ※豊橋でやってみたいと思われたら、上記アンケートよりお気軽にお声がけください。 地元農家や企業との良いマッチングに始まり、その後の開発、実装に至るまで、 私たち市役所も一緒に汗を流し、施策を展開したいと思います！

課題タイトル案	「どうする家康」に便乗！眠れる歴史コンテンツを今こそ表舞台へ
解決したい課題・ 実現したい未来	<ul style="list-style-type: none">● 大河ドラマ館来訪者のまちなか周遊誘導● まちなかに点在する歴史コンテンツ磨き上げと周遊ルート設定
想定する実証実験内容・ 実施予定の事業内容	以下、例示をはじめとする歴史コンテンツを活かした事業構築 <ul style="list-style-type: none">● 家康出生の岡崎城産湯井戸● 家康の父（広忠公）の墓所と家康手植えの松● 家康の妻（築山御前）の邸宅跡● 東海道が岡崎城のあたりで27回も曲がっている謎
想定する解決策	<ul style="list-style-type: none">● 大河ドラマ館からまちなかへの周遊にむけたリアル・デジタルでの誘導● 点在する歴史コンテンツをつなぐストーリーづくり● 歴史コンテンツのリアル・デジタルによる磨き上げ
応募企業のイメージ・ 提案企業に求める専門性	<ul style="list-style-type: none">● 旅行者のニーズをあった観光コンテンツを作る企画力● ターゲット層に訴求し来訪につなげるマーケティング力● ステークホルダーとの調整、事業推進を円滑に行うコミュニケーション力
その他	

課題タイトル案	Local Innovation Challenge HOKKAIDO 2022の実施
解決したい課題・ 実現したい未来	<p>▼解決したい課題</p> <ul style="list-style-type: none">さっぽろ連携中枢都市圏内12市町村の地域課題や行政課題を、スタートアップ企業との協業により解決に結びつける。 <p>▼実現したい未来</p> <ul style="list-style-type: none">自治体側にとっては、地域課題や行政課題の解決を図れ、スタートアップ側にとっては、事業成長に寄与する。
想定する実証実験内容・ 実施予定の事業内容	<ul style="list-style-type: none">第1期・第2期募集で、計10件の採択目標。（行政課題・地域課題のニーズであれば、どのようなものでも可）採択事業者には、試験事業実施に至るまでSTARTUP CITY SAPPORO事務局によるハンズオン支援がつく。採択事業者には試験事業費として最大50万円の付与あり。
想定する解決策	<ul style="list-style-type: none">札幌・北海道特有の課題（ex. スマート農業、鳥獣被害）や移住促進、交流人口・関係人口の創出など、自治体が抱える課題計10件を解決できるスタートアップとマッチングし、試験事業を行えること。
応募企業のイメージ・ 提案企業に求める専門性	<ul style="list-style-type: none">自治体の抱える課題解決に寄与できる技術やサービスを有しており、自らの事業成長に結び付けられる企業。
その他	

<p>課題タイトル案</p>	<p>データ取引市場におけるデータの売買について</p>
<p>解決したい課題・ 実現したい未来</p>	<p>▼解決したい課題</p> <ul style="list-style-type: none"> データ連携基盤上での民間データ利活用が進んでおらず、基盤上の官民データを活用したスマートシティ型サービスが実装されていない。 <p>▼実現したい未来</p> <ul style="list-style-type: none"> データ連携基盤上に設置した、行政の静的データ（無償）、リアルタイムデータや民間データ（有償）を流通させるデータ取引市場を通して、多様なスマートシティ型サービスが民間主導により創出されることで、市民の生活の利便性や満足度が向上する未来
<p>想定する実証実験内容・ 実施予定の事業内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> データ連携基盤（FIWARE）上にデータをAPI形式で販売するデータ取引市場を設置 データ販売者に対する支援（データ販売にあたってのデータの整形等） データ利活用者に対する支援（ニーズを踏まえたデータ販売者へのデータ提供依頼等）
<p>想定する解決策</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多種・多様な民間データが取引市場で流通されること
<p>応募企業のイメージ・ 提案企業に求める専門性</p>	<p>（データ提供者、利活用者として）</p> <ul style="list-style-type: none"> データ売買をしたい企業 データ連携基盤（FIWARE）上の官民データを活用して新たなスマートシティサービスを実装したい企業 データを連携基盤上でAPI提供するための環境を用意する必要があるが、API提供可能な環境がなくとも対応可能な仕組みを検討中であるため、特に必要な専門性はなし <p>（販売者、利活用者への支援者として）</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売者に対するデータ整形やAPIによるデータ提供環境の構築等の支援、利活用者の提供したいサービスの内容を理解し、どのようなデータが必要か、必要なデータがどこに存在するかを判断できるような専門性が必要

課題タイトル案	デジタルの力で市民からの意見・要望（声）への対応・公開を効率化・迅速化！
解決したい課題・ 実現したい未来	<p>○スマートフォンの普及やコロナ禍等の影響により、インターネット経由で寄せられる声が増加しているが、事務手順やシステムの見直しが行われていないため、以下のような点が課題となっている。</p> <ul style="list-style-type: none">● 現行システムが受付フォーム（CMS）、メールソフトと連携していない● システム入力後、相談対応票を印刷し押印決裁を行っている● 担当部へ対応票を印刷、仕分け後、送付している● 事務上必要となる帳票・統計データの出力に対応していない <p>○上記課題を解決後は、市民の声への対応・公開の迅速化が実現するほか、声を分析し、施策・事業計画へ反映させていくためのデータベースとしての利活用が図られる。</p>
想定する実証実験内容・ 実施予定の事業内容	既存システムを利用した手順やシステムを見直し、受付や担当部とのやりとり、ホームページへの公開等の作業を自動化するシステム（クラウドサービス）を作成・利用して、本市での業務に活用可能か検証を行う。
想定する解決策	<p>○市民の声への対応・公開を自動化・効率化</p> <ul style="list-style-type: none">● インターネット経由で寄せられた声に自動で受取通知を送信、システムへの反映、担当部や回答要否の判断、公開可否の判断、メール転送等を実現● システム入力後の電子決裁、各関係部への通知のスムーズな実施● 任意に選択した項目での統計データ出力
応募企業のイメージ・ 提案企業に求める専門性	業務分析や、課題にあわせた解決策をともに考え、提案していただけるような企業。
その他	上記課題は令和5年度中の解決を希望している。

課題タイトル案	ナゴヤからの挑戦状！～未来を創る13の課題～
解決したい課題・ 実現したい未来	
想定する実証実験内容・ 実施予定の事業内容	
想定する解決策	
応募企業のイメージ・ 提案企業に求める専門性	
その他	

Coming Soon!!

課題タイトル案	デジタル技術で地域課題を解決するシビックテックチャレンジYAMAGUCHI
解決したい課題・ 実現したい未来	
想定する実証実験内容・ 実施予定の事業内容	
想定する解決策	
応募企業のイメージ・ 提案企業に求める専門性	
その他	

Coming Soon!!